



TAO-NIRCAM WS

総合討論



講演いただいたテーマ





各講演からの 装置スペック要求

- 波長coverage
短：0.8 μm ~ ?
長：~ 3 μm ?
- 波長分解能
低：~ 500 ?
中：~ 2000 ?
高：~ 50000 !?
- フィルター
NB, MB, Tunable
 - 既存装置との住み分け
 - TAOサイトだからこそ出来ること



各講演に見る

TAO-NIRCAMの独自性

Facility Keywords

すばる MOIRCS, Ultra-VISTA
多色同時（撮像・分光）

他サーベイからのインプット

TAO FLAMINGOS,
GLAO, 柔軟・豊富な観測時間、
大気透過率

この時までにはやられてしまうこと

MOS Multiplicity の要求度は？

J,H,Kの同時分光の魅力？

t



各講演に見る

TAO-NIRCAMの目指す所

- 豊富な観測時間を柔軟に。
- 新たな大気の窓での分光
- ある領域の定期（定常）観測
- Subaru/MOIRCSで出来ないこと
（観測時間、AO、天体選択(HSC, VISTA)）



討論内容 ～機能～

- 可視チャンネル
遠方銀河、超新星での有用性
- OHS
R~5000分散素子で代用？
但し、汎用的過ぎる⇔時間運用の柔軟性。
- 多バンド同時の利点：
タイミングが大事な観測（突発・変光天体）。
可視－NIRまで一度に取れると何かと便利。



討論内容 ～運用～

- 観測時間
使い方を工夫し、すばるとの差別化を。
- TAO/miniTAOの運用
miniTAOを併用したサイエンスの可能性。
同時運用は予算次第。